

総合工学委員会・機械工学委員会合同計算科学シミュレーションと工学設計分科会
小委員会の設置について

分科会等名：計算音響学小委員会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○総合工学委員会 機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員若しくは会員又は連携会員以外の者
3	設置目的	音響学は、音の発生、音の伝播、聴覚器官による音響感覚、音楽、騒音等、音に関するあらゆる現象を扱う学問である。その領域は物理学・工学・心理学・生理学など多くの分野にわたりまさに総合科学の一つである。このことから23期に計算音響学小委員会が設けられ、スーパーコンピュータを用いた「コンサートホールの音響」のシミュレーション、楽器の発音機構のモデリングとシミュレーションと実験、作曲などについて上述の多分野からなる研究者の間で話題提供と討議がなされた。自動車の電動化、自動走行の実現や世界的な環境規制への迅速な対応のため、実機を用いずバーチャル・シミュレーション(MBD)で行う必要性は益々高まっている。自動車産業以外にもこの自動車産業の革新の影響を受け、同様のニーズが高まっている。ドイツ国ではこの動きを第4次産業革命と位置付け「インダストリー4.0」が精力的に進められている。このような話題にも及び、25期では、計算音響学の重要性を発出すべきとの議論も出た。以上、本小委員会を継続し、意思の発出を行い、更に、関連知識の深堀をしつつ発出の実現のための検討を行う。
4	審議事項	1. 計算音響学についての意思の表出の発出 2. その実現に向け、計算音響学についての深堀 3. 課題別委員会の設置を目指した活動に係る審議に関すること
5	設置期間	令和3年1月28日～令和5年9月30日
6	備考	※事実上24期からの継続